

令和元年5月21日
北九州市環境局

第21回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM21）の 本市開催決定について

今年、我が国で開催する「第21回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM21※）」について、環境省が本市で開催することを決定しました。

本市での開催は、平成25(2013)年に続く2回目であり、東京以外で複数回の開催都市となるのは全国初となります。

※ TEMM：Tripartite Environment Ministers Meeting の略

1 会議概要

日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM）は、北東アジアの中核である日本・中国・韓国の三カ国の環境大臣が一堂に会し、本地域及び地球規模の環境問題に関する対話を行い、協力関係を強化することを目的に、平成11(1999)年から毎年各国持ち回りで開催されています（前回は昨年6月に中国蘇州市で開催）。

会合の具体的な内容については、今後国が調整の上、決定する予定です。

2 開催日程

今年11月～12月頃（調整中）

3 開催都市応募でアピールしてきた点

- 長年にわたる本市の環境国際協力の実績
- 本市の公害克服を契機とした環境改善や環境教育などの市民力
- 国の「SDGs未来都市」への選定などSDGs推進の取組
- 交通アクセスや会議場など国際的なコンベンション機能の充実

4 本市の今後の取組

本市としては、この会合開催にあたり、「SDGs未来都市」としての先進的な取組を国内外に情報発信し、積極的に知名度の向上を図っていくとともに、環境国際協力や環境国際ビジネスの新たな展開につなげていきたいと考えています。